

令和2年度 学校関係者評価実施報告書（まとめ用）

学校番号	40	学校名	静岡県立科学技術高等学校	記載者	梶山 佳明
------	----	-----	--------------	-----	-------

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	自己評価	関係者評価	意見	
ア	日常の学習習慣を定着させる。	<ul style="list-style-type: none"> 授業に主体的に取り組んでいると答える生徒80%以上 授業の内容がよく分かると回答する生徒90%以上 教員は授業を大切にするとともに、分かりやすい授業を行おうと努めていると答える保護者80%以上 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> 授業内容がよくわかる、または積極的に課題に取り組んでいる生徒が大部分であることを考えれば、指導者の大変な工夫、努力がうかがえる。 コロナ禍中で、学習指導が最も苦慮されたかと思います。そのような状況下で、学習に対する主体性が養われているという御報告でした。日頃の御指導の成果を評価いたします。 	
		<ul style="list-style-type: none"> 1日10時間、授業や課外、家庭での集中した学習活動の達成50%以上。 学習と部活動等の課外活動が両立できていると答える生徒70%以上 	B	B		<ul style="list-style-type: none"> 家庭学習の時間が短いことと習慣化への指導は、いずれの高等学校でも共通の課題かと思われます。 新しい生活様式で、集中して取り組むのが難しかったとは思いう。
		<ul style="list-style-type: none"> 教養力テストの実施 	A	A		
	個々の生徒のニーズに対応した進路指導体制を確立する。	<ul style="list-style-type: none"> 手帳等を活用し、生活習慣を整え、学習時間やスケジュールの管理ができている生徒60%以上 	B	B	<ul style="list-style-type: none"> 実物を見ていないのでよくわかりませんが、生徒・職員が必要を実感できるように工夫改善する必要があります。 達成率は手帳を活用する率でしょうか、時間管理ができている率でしょうか？ 手帳の使用目的、活用、結果活用の説明をし、生徒に関心を持ってもらえれば、より活用の機会が増大すると考える。 ポートフォリオとして進路指導に活用するか、学習習慣や生活習慣の指導ツールとして使うかを明確にする点が課題かと思われました。 手帳については、紙ベースだけでなくタブレットの方がやりやすい子もいるのではないかと。整理して目標が定まる子もいれば、目標がなくて何をすればよいかわからない子もいると思うので個々に合わせて進めてほしい。 	

様式第5号

		<ul style="list-style-type: none"> ・自分の将来に対する夢や希望を持っていると答える生徒70%以上 ・信頼できる先生がいると答える生徒70%以上 ・きめ細やかで適切な進路指導がなされていると答える保護者80%以上 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・指導者が、自信を持って指導すれば生徒にも気持ちが伝わるものと考ええる。 ・昨年度より達成率が高くなったものの、新入生あるいは新学年に向けたガイダンスが必要な時期に臨時休校が続いたことによる、指導スケジュールへの影響は大きかったと思われます。その中で、きめ細やかな指導が達成されていることは、評価されるべきことと思います。 ・保護者は、先生と対面する機会が少ない中、学年が上がるにつれて割合が上がっているのは、子供を通じて先生を見ている面もあると思うので、「生徒の信頼できる先生がいる」の割合が高くなれば、保護者の割合も増加するのではないかと。
		<ul style="list-style-type: none"> ・国公立大学合格者50人以上 ・就職内定率100% 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・素晴らしいです。 ・国公立大学合格者数は達成見込みということでしょうか？
	部活動を効率的に実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ・部活動に参加している生徒70%以上 ・学校が楽しいと答える生徒70%以上 ・部活動ガイドライン等を踏まえ、適切な指導ができたと答える教員90%以上 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・学校生活が楽しいと答えた生徒が60%は、どの学年であるのかわからないが、上級生で有ったら少し検討する必要がある。 ・「適切な指導ができた」とする目標値と先生方の回答との差から、どのような課題が見えてくるのでしょうか。
	生徒主体の活動を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒会が企画した事業の実施年2回以上 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染対策を取りながら出の活動が出来たことは大変評価できる。
イ	探究的な教育活動を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> ・課題研究への主体的な取組を促すとともに、STEM教育等の教科横断的な取組を実践する。 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・研究発表会が開催されるなど、プレゼンの力も育っていることと思います。さらに発展させて、製作したものの評価実験、改良、発表、他者による評価につなげてもらえるとよいですね。実験、分析、考察を実施している学科もあり、学科間の交流が実施されるとお互いの学びにつながると思います。研究発表会を公開し、卒業生に評価してもらうなど、工夫すると学校の独自性・特徴が出てくるのではないのでしょうか。 ・各科とも成果を上げていて評価できるが、指導者不足については、改善が必要。 ・課題研究への取り組みと、御指導の充実はいずれの学科についても高く評価されるべきと考えられます。「主体的、対話的」が具現化され、生徒の学校生活を充実させるのに重要な役割を担っているとされます。 ・感心してしまう内容ばかりでした。

様式第5号

	<p>専門分野の能力を向上させるとともに、必要な資質を育む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全国大会出場、全国規模のコンクール等の入賞 ・国家資格等の高度な資格に挑戦させ、受験者数及び合格者数の増加。全学科で記述者倫理に関する指導を行う。 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・素晴らしいです。 ・生徒の活動が制限される中、多くの成果をあげられています。
		<ul style="list-style-type: none"> ・全学科で技術者倫理に関する指導を行う。 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・脱炭素社会が今後の政策課題となる中で、科学者や技術者の役割をどのように伝えられているのでしょうか。
ウ	<p>グローバル化への対応と国際理解教育を推進する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・一層充実した研修ができるように検討する。 ・英語検定等の受験者数の増加 (CEFR B1及びA2レベルの生徒数の増加) 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・技術者は、海外研修、あるいは海外の文献を読み、常に新しい知識の習得が必要である。その為に外国語に親しむ習慣をつける必要がある。 ・弊館の業務でも、オンラインによる事業実施件数が増え、メリット、デメリットが指摘されております。国際理解教育の補助手段として、オンラインの活用はいかがだったのでしょうか。 ・海外での実体験ができないのは残念だが、工業ならではの取組は難しいでしょうか。バーチャルとか・・・。
	<p>持続可能な社会の一員としての素養を育成する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶がしっかりとできていると答える生徒95%以上 ・身だしなみがしっかりとできていると答える生徒95%以上 ・スマートフォン・携帯電話は適切に利用していると答える生徒80%以上 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・社会人としての基本である。100%を目指したい。 ・近年、いずれの高校生も挨拶や身だしなみが改善されているように感じます。一方で「グローバル社会の一員」「持続可能な社会の一員」として、多様な意見を受け止める、適切な自己表現ができる等の「素養」についてどのような観点で御指導をされているのでしょうか。 ・街中で自転車に乗りながらスマホを操作している科学技術高校の生徒を見て残念に思った。
		<ul style="list-style-type: none"> ・生徒一人当たりの年平均図書貸出冊数 2冊以上 ・図書館来館者数延べ10,000人以上 	B	B	
		<ul style="list-style-type: none"> ・インターンシップ、保育体験実習に参加した生徒の満足度90%以上 			
		<ul style="list-style-type: none"> ・資源の大切さを意識させるとともに3Sの意味を理解し、積極的に取り組んでいると答える生徒70%以上 	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・SDGsが地球人としての行動の羅針盤と言われています。NHKなどのビデオ教材による学習に取り組んでみてはいかがでしょうか。
		<ul style="list-style-type: none"> ・交通ルールへの遵守に心掛けていると答える生徒90%以上 	A	A	

様式第5号

エ	カリキュラム・マネジメントを推進する。	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい教育課程の編成 ・令和3年度から学校運営協議会制度を導入 	A	A	
	特別支援教育体制を確立する。	<ul style="list-style-type: none"> ・教育相談だよりを、月1回以上発行 ・1年生全員を対象としたカウンセリングを実施 ・個別の指導計画及び支援計画の作成 	B	B	
	教職員の資質・能力の向上を支援する。	<ul style="list-style-type: none"> ・研修の成果を授業改善や学校運営に役立てた教員90%以上 ・授業参観した教員70%以上 ・授業力自己診断を実施した教員90%以上 ・多様な測定ツールを用いてPDCAサイクルによる授業改善に取り組んだ教員90% ・観点別評価を適切に実施していると答える教員60%以上 ・日常的に授業でICT機器を活用した教員60%以上 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児期からSDGsの教育が取り入れられ、探究中心の授業になっています。生徒の課題研究と共同して、教員による教材の開発や新しい教育方法、優れた授業実践を発表しあい、研究力を高めてください。 ・「授業参観」に対する評価Cは、目標値および前年度の達成率を鑑みたものです。本年度は、4月から夏休み期間に至る時期に、コロナ対策での御負担が各先生方にのしかかったものと推察いたします。 ・ICTの利用につきましては、そのメリット、デメリットの評価について、教科の特色によっても異なるかと思われます。
	教職員のメンタルヘルスの増進及びコンプライアンスの徹底を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・メンタルヘルス及びコンプライアンスに関する研修の実施1回以上 	A	A	
	学校教育活動に関する広報を充実する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページを月15回以上更新 	A	A	
	校務の円滑、かつ適切な実施を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> ・全職員が校務で共有サーバーを使用する。 	A	A	
		<ul style="list-style-type: none"> ・業務改善を心掛けたとする教員70%以上 	B	B	

様式第5号

		<ul style="list-style-type: none"> ・施設・設備の点検の日を設け、PFI担当者との点検月1回以上実施 ・省エネ・省資源への取組を進め、コスト意識を醸成し、消費電力量を削減 	<p>B</p> <p>A</p>	<p>B</p> <p>A</p>	
--	--	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------	-------------------	--